

第四計画期間 評価項目一覧(区分Ⅱ)

参考資料4-2

※ 評価分類の欄の◎印は必須項目、○印は一般項目、+印は加点項目を示す。赤字は新規、灰色は廃止項目を示す。

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	
I	1. CO2削減推進体制の整備	◎	1.1	CO2削減推進会議等の設置及び開催	
		◎	1.2	PDCA管理サイクルの実施体制の整備	
		○	1.3	ISO14001の取得	
		○	1.4	CO2削減に関するQCサークル活動、改善提案制度の導入	
		+	1.5	エネルギー管理優良工場、省エネ大賞等の表彰	
	2. 図面、管理標準等の整備	◎	2.1	図面・改修履歴等の整備	
		◎	2.2	設備台帳等の整備	
		◎	2.3	管理標準等の整備	
	3. 主要設備等に関する計測・計量及び記録	◎	3.1	エネルギー管理システムの導入	
		◎	3.2	電力負荷状況・発電状況等の把握に必要な計測・計量設備の導入	
		◎	3.3	エネルギー消費先別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	
		◎	3.4	系統別の使用量把握に必要な計測・計量設備の導入	
		◎	3.5	管理日報・月報・年報の作成	
		○	3.6	ユーティリティ設備の分析に必要な計測・計量設備の導入	
	4. エネルギー消費量・CO2排出量の管理	◎	4.1	生産工程・処理工程のエネルギー管理	
		◎	4.2	エネルギー消費特性の把握、エネルギー消費原単位の算出及び管理	
		◎	4.3	CO2排出量の管理	
		◎	4.4	CO2削減目標の設定、CO2削減対策計画の立案及び実績の集約・評価の実施	
		◎	4.5	CO2削減対策の啓発活動の実施	
		◎	4.6	改善策の立案・実施及び効果検証の実施	
○		4.7	ユーティリティ設備の運転解析の実施		
+		4.8	従業員等への環境・エネルギー情報提供システムの導入		
5. 保守・点検の管理	◎	5.1	保守・点検計画の策定及び実施		
II 設備及び建物の性能に関する事項	1 ・ ユ ー テ ィ リ テ ィ 設 備 等 の 省 エ ネ ル ギ ー 性 能	a. 蒸気供給設備	◎	1a.1	高効率蒸気ボイラーの導入
			◎	1a.2	蒸気ボイラーのエコマイザー又はエアヒーターの導入
			◎	1a.3	蒸気弁・フランジ部の断熱
			◎	1a.4	蒸気ドレンタンクの断熱
			◎	1a.5	蒸気ボイラーの台数制御の導入
			○	1a.6	蒸気ドレン回収設備の導入
			○	1a.7	蒸気ドレンのクローズド回収方式の導入
			○	1a.8	蒸気ボイラーの小型分散システムの導入
			+	1a.9	省エネ型スチームトラップの導入
			+	1a.10	蒸気ボイラーの押込送風機インバータ制御の導入
			+	1a.11	不要蒸気配管の撤去・蒸気配管ルート・サイズの変更
			+	1a.12	圧力差タービンの導入
			+	1a.13	フラッシュ蒸気利用設備の導入
			+	1a.14	蒸気減圧エネルギー動力回収設備の導入
			+	1a.15	アキュムレーターの導入
			+	1a.16	負荷に適した容量のバーナーへの変更
			II 設備及び建物の性能に関する事項	1 ・ ユ ー テ ィ リ テ ィ 設 備 等 の 省 エ ネ ル ギ ー 性 能	b. 熱源・熱搬送設備、冷却設備
○	1b.2	水搬送経路の密閉化			
○	1b.3	熱源の台数制御の導入			
○	1b.4	冷却塔ファン等の台数制御又は発停制御の導入			
○	1b.5	熱源2次ポンプ変流量制御の導入			
○	1b.6	熱源2次ポンプの適正容量分割又は小容量ポンプの導入			
+	1b.7	高効率冷却塔の導入			
+	1b.8	高効率熱源ポンプの導入			
+	1b.9	大温度差送水システムの導入			
+	1b.10	熱源機器出口設定温度の遠方制御の導入			
+	1b.11	熱源1次ポンプ変流量制御の導入			
+	1b.12	冷却水ポンプ変流量制御の導入			
+	1b.13	熱源2次ポンプの末端差圧制御の導入			
+	1b.14	熱交換器の断熱			
+	1b.15	蓄熱システムの導入			
+	1b.16	冷却塔ファンインバータ制御の導入			
+	1b.17	フリークーリングシステムの導入			
+	1b.18	冷却水ろ過冷却リサイクルシステムの導入			
+	1b.19	冷却水ON/OFF制御システムの導入			
+	1b.20	中温冷水利用システムの導入			
+	1b.21	統合熱源制御システムの導入			
+	1b.22	熱源2次ポンプの送水圧力設定制御の導入			

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	1 ・ユーティリティ設備等の省エネルギー性能	c. コージェネレーション設備	+	1c.1 高効率コージェネレーションの導入
		d. 受変電設備、配電設備	◎	1d.1 高効率変圧器の導入
			◎	1d.2 力率改善制御システムの導入
			+	1d.4 低圧動力回路への力率改善コンデンサの導入
			+	1d.5 400V配電方式の導入
			+	1d.6 低負荷変圧器の統合
			+	1d.7 変圧器の台数制御の導入
			+	1d.8 大型変圧器の冷却設備制御の導入
			+	1d.9 高効率UPSの導入
			e. 圧縮空気供給設備	◎
		○		1e.2 エアコンプレッサーの台数制御の導入
		○		1e.3 コンプレッサー室への換気設備の導入
		+		1e.4 圧縮空気配管のループ配管化
		+		1e.5 エアコンプレッサーの分散化
		+		1e.6 圧縮空気配管の高圧ライン/低圧ラインの系統分割
		+		1e.7 ブースター方式の導入
		+		1e.8 吸気冷却システムの導入
		+		1e.9 コンプレッサーの排熱回収システムの導入
		+		1e.10 パージ制御装置の導入
		+		1e.11 エアコンプレッサー排熱の局所排気システムの導入
		+		1e.12 フィルタの低圧損化
	+	1e.13 高効率ドライヤーの導入		
	f. 給排水・給湯設備、排水処理設備	○	1f.1 高効率給水ポンプの導入	
		+	1f.2 排水処理用の高効率ポンプ・ブロワの導入	
		+	1f.3 排水再利用システム等の導入	
		+	1f.4 微細気泡散気管の導入	
		+	1f.5 ばっ気用ブロワの変風量制御の導入	
		+	1f.6 ばっ気用ブロワの溶存酸素濃度制御の導入	
		+	1f.7 高効率給湯ヒートポンプユニットの導入	
	2 ・建築設備の省エネルギー性能	a. 空調・換気設備	◎	2a.1 高効率パッケージ形空調機の導入
			○	2a.2 電気室・エレベーター機械室の温度制御の導入
			+	2a.3 高効率空調機の導入
			+	2a.4 高効率空調・換気用ファンの導入
			+	2a.5 ウォーミングアップ時の外気遮断制御の導入
			+	2a.6 空調機の変風量システムの導入
			+	2a.7 空調機の気化式加湿器の導入
			+	2a.8 外気冷房システムの導入
			+	2a.9 局所冷暖房設備の導入
			+	2a.10 CO2濃度による外気量制御の導入
			+	2a.11 ファンコイルユニットの比例制御の導入
			+	2a.12 空調の最適起動制御の導入
			+	2a.13 全熱交換器の導入
			+	2a.14 大温度差送風空調システムの導入
			+	2a.15 放射冷暖房空調システムの導入
			+	2a.16 置換換気システムの導入
			+	2a.17 空調機の間欠運転制御の導入
			+	2a.18 高効率厨房換気システムの導入
+			2a.19 厨房外調機・ファンの風量モード切替制御の導入	
+			2a.20 人感センサーによる換気制御の導入	
+			2a.21 デシカント空調システムの導入	
+			2a.22 ファンの手動調整用インバータの導入	
+			2a.23 気流感創出ファン・サーキュレーションファンの導入	
b. 照明設備		◎	2b.1 高効率照明器具の導入	
		○	2b.2 高輝度型誘導灯・蓄光型誘導灯の導入	
		○	2b.3 照明のゾーニング制御の導入	
		○	2b.4 照明の人感センサーによる在室検知制御の導入	
		+	2b.5 照明の局所制御の導入	
		+	2b.6 照明の初期照度補正制御の導入	
		+	2b.7 照明の昼光利用照明制御の導入	
	+	2b.8 照明のタイムスケジュール制御の導入		
	+	2b.9 タスク&アンビエント照明システムの導入		
+	2b.10 照明の明るさ感知による自動点滅制御の導入			
+	2b.11 照明のセキュリティ連動制御の導入			
+	2b.12 誘導灯の消灯制御の導入			

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	2 ・ 建築設備の省エネルギー性能	c. 衛生設備	○	2c.1 大便器の節水器具の導入
			+	2c.2 省エネ型便座又は洗浄便座のスケジュール制御の導入
			+	2c.3 洗面器の自動水栓の導入
			+	2c.4 女子便所への擬音装置の導入
			+	2c.5 自然冷媒ヒートポンプ給湯器の導入
			+	2c.6 潜熱回収給湯器の導入
		d. 昇降機設備	○	2d.1 エレベーターの可変電圧可変周波数制御方式の導入
			○	2d.2 エレベーターの群管理制御の導入
			○	2d.3 エレベーターかご内の照明、ファン等の不使用時停止制御の導入
			+	2d.4 エレベーターの電力回生制御の導入
		e. その他	○	2e.1 グリーン購入法適合商品のオフィス機器の導入
			○	2e.2 省エネ型自動販売機又は自動販売機のスケジュール制御の導入
	+		2e.3 高効率厨房機器の導入	
	3 ・ 建物の省エネルギー性能	a. 建物外皮	+	3a.1 高性能な建物外皮の導入
			+	3a.2 隙間風対策の導入
			+	3a.3 ブラインドの日射制御及びスケジュール制御の導入
			+	3a.4 屋上緑化の導入
			+	3a.5 壁面緑化の導入
			+	3a.6 遮熱塗料塗布・遮熱フィルムの導入
			+	3a.7 屋根への遮熱塗装の導入
		b. 自然エネルギーの利用	+	3b.1 自然採光を利用したシステムの導入
+			3b.2 自然通風を利用したシステムの導入	
+			3b.4 年間を通して安定した地中温度を利用したシステムの導入	
4.再生可能エネルギー・未利用エネルギー		+	4.2 未利用エネルギーシステムの導入	
III 設備及び事業所の運用に関する事項	1 ・ ユーティリティ設備等の運用管理	a. 蒸気供給設備	◎	1a.1 蒸気ボイラーの空気比の管理
			◎	1a.2 蒸気ボイラーの設定圧力の適正化
			◎	1a.3 部分負荷時の蒸気ボイラー運転の適正化
			◎	1a.4 非使用エリアの蒸気供給バルブの閉止
			◎	1a.5 非使用時間帯の蒸気ボイラーの停止
			○	1a.6 蒸気ボイラーの給水水質・フロー量の管理
			○	1a.7 蒸気配管の保温の確認
			○	1a.8 蒸気ボイラーの起動時間の適正化
			+	1a.9 スチームトラップの効果検証の実施
		b. 熱源・熱搬送設備、冷却設備	◎	1b.1 燃焼機器の空気比の管理
			○	1b.2 冷凍機の冷却水温度設定値の調整
			○	1b.3 冷温水管等の保温の確認
			○	1b.4 インバータ制御系統のバルブの開度調整
			○	1b.5 熱源不要期間の熱源機器等停止
			○	1b.6 空調停止時の熱源運転時間の短縮
			○	1b.7 熱源機器の冷温水出口温度設定値の調整
			+	1b.8 部分負荷時の熱源運転の適正化
			+	1b.9 部分負荷時の熱源ポンプ運転の適正化
			+	1b.10 蓄熱槽の管理
			+	1b.11 ミキシングロス防止のためのバルブ開度の確認
			+	1b.12 空調開始時の熱源起動時間の適正化
			+	1b.13 熱源2次ポンプ変流量制御のインバータ周波数下限値の調整
			+	1b.14 再生可能エネルギー等熱利用システムのバックアップ運転の適正化
			c. コージェネレーション設備	○
	d. 受変電設備、配電設備	◎	1d.1 不要期間・不要時間帯の変圧器の遮断	
		○	1d.2 変圧器タップ切換による電圧の最適化	
		+	1d.3 昼間運転設備の夜間移行	
	e. 圧縮空気供給設備	◎	1e.1 非使用エリアの圧縮空気供給バルブの閉止	
		◎	1e.2 非使用時間帯のエアコンプレッサーの停止	
		◎	1e.3 部分負荷時のエアコンプレッサー運転の適正化	
		○	1e.4 エアコンプレッサーの設定圧力の適正化	
		○	1e.5 エアコンプレッサー吸入空気温度の管理	
		+	1e.6 ドライエアの設定露点温度の緩和	
	f. 給排水・給湯設備、排水処理設備	○	1f.1 給水・給湯バルブの調整	
		+	1f.2 給水圧力の管理	
		+	1f.3 揚水ポンプのバルブの開度調整	
+		1f.4 貯湯温度設定の緩和		
+		1f.5 給湯不要時間帯の給湯循環ポンプの停止		
+		1f.6 ばっ気設備の必要ばっ気圧力に応じた空気供給圧力の管理		

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
Ⅲ 設備及び事業所の運用に関する事項	2 ・ ユーティリティ設備等の保守管理	a. 蒸気供給設備	◎	2a.1 蒸気ボイラーの点検・清掃
			◎	2a.2 蒸気配管・バルブ・スチームトラップからの漏れ点検
			○	2a.3 蒸気制御バルブ等の作動チェック
			+	2a.4 蒸気ボイラーのメーカーによる遠隔監視
		b. 熱源・熱搬送設備、冷却設備	◎	2b.1 熱源機器の点検・清掃
			○	2b.2 熱交換器の清掃
			○	2b.3 熱源用制御機器の点検及び制御バルブ等の作動チェック
			○	2b.4 冷却水の適正な水質管理及び冷却塔の充填材の清掃
			+	2b.5 熱源機器のメーカーによる遠隔監視
		c. コージェネレーション設備	○	2c.1 コージェネレーション設備の定期的な点検
		e. 圧縮空気供給設備	◎	2e.1 圧縮空気配管・バルブからの漏れ点検
			◎	2e.2 エアコンプレッサー吸込みフィルターの清掃
	○		2e.3 インタークーラーの清掃	
	3 ・ 建築設備の運用管理	a. 空調・換気設備	◎	3a.1 居室の室内温度の適正化
			○	3a.2 室使用開始時の空調起動時間の適正化
			○	3a.3 換気ファンの間欠運転の実施
			○	3a.4 クールビズ・ウォームビズによる空調設定温度の緩和
			○	3a.5 エレベーター機械室・電気室の室内設定温度の適正化
			+	3a.6 CO2濃度・外気温湿度による外気取入量の調整
			+	3a.7 居室以外の室内温度の緩和
			+	3a.8 エレベーター機械室・電気室の換気ファンの夏季停止
			+	3a.9 エレベーター機械室・電気室の空調機の給気・還気設定温度の適正化
			+	3a.10 ファンのプーリーダウンの実施
			+	3a.11 パッケージ形空調機の省エネチューニングの実施
		b. 照明設備	◎	3b.1 事務室以外の照度条件の緩和
			○	3b.2 照明のタイムスケジュールによる消灯
			○	3b.3 事務室の室内照度の適正化
			+	3b.4 事務室の照度条件の緩和
			+	3b.5 時間外等の照明点灯エリアの集約化
		c. 衛生設備	+	3c.1 洗浄便座暖房の夏季停止
			+	3c.2 給湯温度設定の緩和
			+	3c.3 貯湯式電気温水器の夜間・休日の電源停止
			+	3c.4 便所洗面給湯の給湯中止又は給湯期間の短縮
d. 昇降機設備		+	3d.1 夜間・休日等のエレベーターの運転台数の削減	
e. その他	○	3e.1 空調空間と非空調空間の境にある出入口の開閉の管理		
	+	3e.2 自動販売機の照明の消灯		
4 ・ 建築設備の保守管理	a. 空調・換気設備	◎	4a.1 空調機・ファンコイルユニット等のフィルターの清浄	
		○	4a.2 センサー類の精度チェック及び制御ダンパ等の作動チェック	
		○	4a.3 空調機・ファンコイルユニット等のコイルフィン等の清浄	
		○	4a.4 パッケージ屋外機のコイル洗浄	
		○	4a.5 ファンベルトの張力調整	
		+	4a.6 省エネファンベルトへの交換	
	b. 照明設備	○	4b.1 照明器具の清掃	
		+	4b.2 照明用制御設備の作動チェック	
		+	4b.3 ランプ交換時の初期照度補正リセットの実施	
Ⅳ の 事業所に 関する 再生可能 エネルギー の 取組	1. オンサイトの再生可能エネルギーの利用	◎	1.1 太陽光発電システムの導入	
		+	1.2 大規模太陽光発電システムの導入	
		+	1.3 再生可能エネルギーシステムの導入	
	2. オフサイトの再生可能エネルギーの利用	○	2.1 オフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	
		+	2.2 良質なオフサイトの再生可能エネルギー発電設備の導入	
	3. 電気需給契約等による再生可能エネルギーの利用	○	3.1 再生可能エネルギー電気の購入	
		+	3.2 良質な再生可能エネルギー電気の購入	
	4. 電気需要最適化	○	4.1 駐車場のZEV充電設備の導入	
+		4.2 デマンドレスポンスに対応した設備の導入		
+		4.3 小売電気事業者等とのデマンドレスポンス契約		
Ⅴ 等 の ゼロ エミ ッション に 関する 事項 や 環境 配 慮	1. CO2排出量・エネルギー消費量等の削減	◎	1.1 ゼロエミッション化へのロードマップの策定	
		○	1.2 ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化へのロードマップの策定	
		◎	1.3 CO2排出量の削減実績	
		○	1.4 一次エネルギー消費量の削減実績	
		○	1.5 再生可能エネルギー電気の利用割合	
		+	1.6 特定温室効果ガス以外の温室効果ガス排出量の削減実績	
	2. 気候変動適応策	○	2.1 気候変動への適応	
	3. その他の環境配慮の取組	○	3.1 持続可能な低炭素資材等の利用	
		+	3.2 建設・更新時のCO2排出量の把握	
		+	3.3 テナント工事に伴うCO2排出量を低減させる貸方基準書等の整備	
		+	3.4 ウェルネスに関する環境認証の取得	

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	5 ・生産・プラント・特殊設備の省エネルギー性能	a.燃料の燃焼	◎	5a.1 燃料の供給量・空気比を調整できるバーナー等の導入
			○	5a.2 通風量・燃焼室内の圧力を調整できる通風装置の導入
			○	5a.3 通風装置のインバータ制御の導入
			+	5a.4 工業炉のリジェネレイティブバーナーの導入
			+	5a.5 工業炉のリジェネレーター等の導入
		b.加熱及び冷却並びに伝熱	○	5b.1 加熱・冷却制御システムの導入
			+	5b.2 塗装ブースの3WET塗装システムの導入
		c.排熱回収	○	5c.1 排ガスの排熱回収設備の導入
		d.断熱・保温	○	5d.1 燃焼設備・熱利用設備への二重扉の導入
			○	5d.2 燃焼設備・熱利用設備への空気流等による遮断設備の導入
			○	5d.3 工業炉の炉壁外面温度による断熱強化
			+	5d.4 燃焼設備・熱利用設備炉体開口部の縮小・密閉
			+	5d.5 既存の燃焼設備・熱利用設備の断熱強化
		e.電動力応用設備・電気加熱設備	◎	5e.1 生産プロセスにおける電動機の台数制御の導入
			◎	5e.2 中・大容量モータ冷却ファンのモータ連動制御の導入
			○	5e.3 エアブロー機器への省エネ型エアノズルの導入
			○	5e.4 生産プロセスにおける電動機の回転数制御の導入
			○	5e.5 電気溶接機のインバータ制御の導入
			○	5e.6 油圧・空圧駆動成型機の電動化
			○	5e.7 高効率クレーンの導入
			+	5e.8 生産プロセスにおける高効率ポンプの導入
			+	5e.9 生産プロセスにおける高効率ブロウ・ファンの導入
			+	5e.10 油圧・空圧駆動アクチュエータの電動化
			+	5e.11 空圧駆動アクチュエータの低圧化
			+	5e.12 ブロー工程におけるエアコンプレッサのブロワ化
			+	5e.13 高効率コンベアの導入
			+	5e.14 ブロー工程の縮小
			+	5e.15 ブロワのインレットベーン制御の導入
			+	5e.16 ブロワの動力伝達装置による減速の導入
			+	5e.17 塗料循環システムにおける油圧・空圧ポンプの電動ポンプ化
			+	5e.18 塗料循環システムのフローコントロールシステムの導入
		f.特殊空調設備	○	5f.1 クリーンルームのローカルリターン方式の導入
			○	5f.2 省エネ型ファンフィルタユニットの導入
			○	5f.3 ファンフィルタユニットの台数制御の導入
			○	5f.4 半導体プロセス等における局所クリーン化の導入
			○	5f.5 クリーンルーム空調機のインバータ制御の導入
			○	5f.6 恒温恒湿室の部分層流方式の導入
			○	5f.7 恒温恒湿室の再熱負荷の軽減手法の導入
			○	5f.8 冷媒ホットガスレヒート除湿システムの導入
			○	5f.9 高効率冷凍・冷蔵設備の導入
			+	5f.10 クリーンルームの顕熱処理用ドライコイルの導入
			+	5f.11 クリーンルームの局所冷却システムの導入
			+	5f.12 クリーンルームの陽圧排気の一般室利用
			+	5f.13 省エネ型クリーンルーム空調コントローラの導入
			+	5f.14 クリーンルームの外調機省エネ制御システムの導入
			+	5f.15 恒温恒湿室の露点飽和散水システムの導入
			+	5f.16 動物実験施設への空気熱交換器の導入
			+	5f.17 換気式飼育ラックによる部分換気方式の導入
			+	5f.18 少排気量ドラフトチャンバーの導入
			+	5f.19 ドラフトチャンバーの換気量可変制御システムの導入
			+	5f.20 空調予熱コイルへの冷凍機冷却水利用システムの導入
			+	5f.21 塗装ブース空調のウィンドウ制御の導入
			+	5f.22 塗装ブース排気リサイクルシステムの導入
			+	5f.23 冷凍車プラットホームへの冷房設備の導入
		g.特殊排気設備	○	5g.1 高効率脱臭装置の導入
			○	5g.2 生産設備と脱臭装置の連動制御の導入
			+	5g.3 直燃式脱臭装置の排熱回収ボイラー・エコノマイザーの導入
			+	5g.4 直燃式脱臭装置の精留副生液の混合燃焼システムの導入
			+	5g.5 直燃式脱臭装置の待機時温度低下制御の導入
			+	5g.6 スクラバーの排熱回収システムの導入

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	5 生産エネルギー・プラント・特殊設備	h.純水供給設備	○	5h.1 純水ポンプのインバータ制御の導入
			○	5h.2 超低圧RO膜の導入
			○	5h.3 高効率UV酸化装置の導入
			+	5h.4 純水ROライン回収装置の導入
			+	5h.5 純水冷却循環システムの導入
			+	5h.6 排熱利用による蒸留式純水製造装置の導入
	i. 場内輸送設備	○	5i.1 高効率フォークリフトの導入	
		○	5i.2 低燃費車の導入	
		○	5i.3 高効率トランスファークレーンの導入	
	j.追加評価事項	+	5j.1	
III 設備及び事業所の運用に関する事項	5 生産・プラント・特殊設備の運用管理	a.燃料の燃焼	◎	5a.1 燃焼設備の空気比の管理
			◎	5a.2 燃焼設備の運転台数の調整
			○	5a.3 燃料の管理
			○	5a.4 燃焼設備の空運転時間の短縮
	b.加熱及び冷却並びに伝熱	◎	5b.1 熱媒体の温度・圧力・量の管理	
		◎	5b.2 非使用時の蒸気供給バルブの閉止	
		○	5b.3 被加熱物・被冷却物の装てん方法の調整	
		○	5b.4 炉内被加熱物の温度管理	
		+	5b.5 ヒートパターンの改善	
		+	5b.6 工程間の待ち時間の短縮	
		+	5b.7 複数の加熱等を行う設備の負荷の集約化	
		+	5b.8 断続的な運転を行う設備の運転の集約化	
		+	5b.9 炉内ガス循環の改善	
	c.排熱回収	○	5c.1 排ガスの排熱回収率の管理	
	d.断熱・保温	◎	5d.1 燃焼設備・熱利用設備の開閉回数・開閉時間・開口面積の管理	
	e.電動力応用設備・電気加熱設備	◎	5e.1 非使用時の電気使用設備の停止	
		○	5e.2 電気炉における被加熱物の装てん方法の調整	
		○	5e.3 電気炉における炉内被加熱物の温度管理	
		○	5e.4 エアブローの適正化	
		+	5e.5 生産プロセスにおけるポンプ・ブロウ・ファンの間欠運転の実施	
		+	5e.6 電気炉におけるヒートパターンの改善	
		+	5e.7 電気炉における工程間の待ち時間の短縮	
		+	5e.8 電解設備の電解効率の改善	
		+	5e.9 電気加熱設備のタップ切替・ON/OFFの実施	
	f.特殊空調設備	◎	5f.1 クリーンルームの清浄度の適正化	
		○	5f.2 非使用時の特殊空調室の低風量運転の実施	
		○	5f.3 冷凍・冷蔵設備冷却器の除霜(デフロスト)の実施	
		+	5f.4 特殊空調室の温度・湿度設定の緩和	
		+	5f.5 特殊空調室の運転時間の短縮	
		+	5f.6 特殊空調室の温度・湿度PID制御の調整	
		+	5f.7 気流シミュレーションによるクリーンルームの気流改善	
	g. 特殊排気設備	○	5g.1 特殊排気設備の排気量の適正化	
		○	5g.2 非使用時の特殊排気設備の低風量運転の実施	
	h.純水供給設備	○	5h.1 純水原水加熱設定温度の適正化	
		○	5h.2 RO装置等の運転台数の適正化	
		+	5h.3 UVランプ・UV酸化器の間引き・停止	
		+	5h.4 製品洗浄待ち時間中のスタンバイブロー低減の実施	
		+	5h.5 RO装置回収率の適正化	
	i. 場内輸送設備	+	5i.1 燃費の管理	
	6 生産・プラント・特殊設備の保守管理	a.燃料の燃焼	◎	6a.1 燃焼設備の定期的な保守・点検
			◎	6a.2 熱交換器等の定期的な付着物の除去
		c.排熱回収	◎	6c.1 排熱回収設備の定期的な保守・点検
		d.断熱・保温	◎	6d.1 燃焼設備・熱利用設備の定期的な保守・点検
			○	6d.2 配管の定期的な保守・点検
			○	6d.3 燃料・製品貯蔵設備の定期的な保守・点検
		e.電動力応用設備・電気加熱設備	◎	6e.1 電動力応用設備・電気加熱設備の定期的な保守・点検
			◎	6e.2 生産プロセスにおけるブロウ・ファンのフィルターの清掃
f.特殊空調設備		◎	6f.1 特殊空調設備の定期的な保守・点検	
		○	6f.2 冷凍・冷蔵庫の保温管理	

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目	
II 設備及び建物の性能に関する事項	5 ・ 上水道施設の省エネルギー性能	a.共通	◎	5a.1 高効率上水道ポンプの導入	
			◎	5a.2 上水道ポンプの台数制御の導入	
			○	5a.3 上水道ポンプの回転数制御の導入	
			○	5a.4 高効率ブロウ・ファンの導入	
			+	5a.5 上水道ポンプの翼角制御の導入	
			+	5a.6 上水道ポンプのインペラの改良	
		b.取水・導水工程	○	5b.1 除じん機の上下流の水位差によるON-OFF制御の導入	
			+	5b.2 場内雨水利用の導入	
		c.沈殿・ろ過工程	○	5c.1 かくはん装置の回転数制御の導入	
			○	5c.2 かくはん装置の低速モータの導入	
			+	5c.3 自然平衡形ろ過池の導入	
		d.高度浄水工程	○	5d.1 オゾンブロウのインバータ制御の導入	
		e.排水処理工程	+	5e.1 天日乾燥と脱水機併用の汚泥脱水システムの導入	
			+	5e.2 排熱利用による濃縮汚泥加温システムの導入	
		III 設備及び事業所の運用に関する事項	5 ・ 上水道施設の運用管理	a.共通	◎
◎	5a.2 上水道ポンプ台数制御の適正化				
b.取水・導水工程	○			5b.1 除じん機の運転時間・運転間隔の適正化	
c.沈殿・ろ過工程	○			5c.1 汚泥かき寄せ機の運転時間・運転間隔の適正化	
	○			5c.2 汚泥排出装置の運転時間・運転間隔の適正化	
	○			5c.3 ろ過逆洗・空洗の頻度の適正化	
d.高度浄水工程	○			5d.1 膜ろ過の膜洗浄の頻度・時間の適正化	
	○			5d.2 オゾン注入量の調整	
e.排水処理工程	○			5e.1 汚泥濃縮設備の運転時間・運転間隔の適正化	
	○			5e.2 汚泥脱水設備の運転時間・運転間隔の適正化	
6 守管・理保	a.共通			◎	6a.1 上水道施設の定期的な保守・点検
				◎	6a.2 ブロウ・ファン等の吸気フィルターの清掃

評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	5 下水道施設の省エネルギー性能	a.前処理工程	◎	5a.1 主ポンプの台数制御の導入
			○	5a.2 高効率主ポンプの導入
			○	5a.3 主ポンプの回転数制御の導入
			○	5a.4 スクリーン・揚砂設備の間欠制御の導入
			+	5a.5 流入水量による池数制御の導入
		b.水処理工程	◎	5b.1 ばっ気用ブロワの台数制御の導入
			◎	5b.2 ばっ気用ブロワの回転数制御・インレットベーン制御の導入
			◎	5b.3 微細気泡散気装置の導入
			◎	5b.4 返送汚泥ポンプの台数制御の導入
			○	5b.5 高効率返送汚泥ポンプの導入
			○	5b.6 汚泥かき寄せ機の間欠制御の導入
			○	5b.7 汚泥引き抜きポンプの間欠制御の導入
			○	5b.8 返送汚泥ポンプの回転数制御の導入
			○	5b.9 ばっ気用ブロワの送風量制御の導入
			○	5b.10 水中かくはん機の回転数制御の導入
			○	5b.11 水中かくはん機の間欠制御の導入
			○	5b.12 ブロワ管への超音波流量計の導入
			○	5b.13 余剰汚泥ポンプの間欠制御の導入
			○	5b.14 軽量チェーン汚泥かき寄せ機の導入
			○	5b.15 高効率ばっ気用ブロワの導入
			+	5b.16 スチームタービン駆動ブロワの導入
			+	5b.17 硝化液循環ポンプの台数制御の導入
			+	5b.18 硝化液循環ポンプの回転数制御の導入
		c.汚泥処理工程	◎	5c.1 汚泥輸送ポンプの台数制御の導入
			○	5c.2 高効率汚泥輸送ポンプの導入
			○	5c.3 汚泥輸送ポンプの回転数制御の導入
			○	5c.4 高効率汚泥脱水装置の導入
			+	5c.5 高性能フィルターの導入
d.汚泥焼却工程	○	5d.1 汚泥焼却炉等の流動ブロワ・誘引ファンの回転数制御の導入		
	○	5d.2 汚泥焼却炉等の炉壁外面温度による断熱強化		
	+	5d.3 汚泥焼却炉等の排熱回収システムの導入		
	+	5d.4 汚泥焼却炉等の排熱蒸気による暖房利用システムの導入		
III 設備及び事業所の運用に関する事項	5 下水道施設の運用管理	a.前処理工程	○	5a.1 主ポンプの高水位運転の実施
			b.水処理工程	◎
		○		5b.2 ろ過装置洗浄工程の適正化
		○		5b.3 脱臭空気量の低減の実施
		+		5b.4 スカム除去設備のスカム捕捉効率の管理
		c.汚泥処理工程	○	5c.1 消化タンクの投入汚泥濃度管理・温度管理
			○	5c.2 脱水汚泥の低含水率化の実施
		d.汚泥焼却工程	◎	5d.1 汚泥焼却炉等の燃料と空気量の適正化
			○	5d.2 汚泥焼却炉等の負荷率の適正化
			○	5d.3 汚泥焼却炉等の熱媒体(砂)の温度・量の管理
			+	5d.4 汚泥焼却炉等の連続運転の実施
			+	5d.5 汚泥焼却炉等の自燃時間拡大の実施
		e.共通	◎	6e.1 下水道施設の定期的な保守・点検
			◎	6e.2 ばっ気用ブロワ・ファン等の吸気フィルターの清掃



評価項目の区分		評価分類	No.	評価項目
II 設備及び建物の性能に関する事項	5 ・ 廃棄物処理施設の省エネルギー性能	a.前処理工程	◎	5a.1 高効率ごみクレーン等の導入
			○	5a.2 高効率ごみ投入扉システムの導入
			○	5a.3 高効率脱臭ファンの導入
			+	5a.4 乾燥機の排熱利用システムの導入
			+	5a.5 乾燥機の高効率バーナーの導入
			+	5a.6 乾燥機の高効率自動乾燥制御装置の導入
		b.熱処理工程	◎	5b.1 焼却炉等の自動燃焼装置の導入
			◎	5b.2 焼却炉等の排熱回収システムの導入
			◎	5b.3 通風設備の高効率ブロワの導入
			○	5b.4 燃料式溶融炉の高効率バーナー等の導入
			○	5b.5 電気式溶融炉の最適電力制御の導入
			○	5b.6 高効率排熱ボイラーの導入
			○	5b.7 排熱ボイラーの低温エコマイザーの導入
			○	5b.8 通風設備のブロワの回転数制御の導入
			○	5b.9 焼却炉等の高効率断熱炉体の導入
			+	5b.10 焼却炉等における炉体のボイラー化
			+	5b.11 減温塔の最適水噴霧制御の導入
			+	5b.12 通風設備の蒸気タービン駆動ブロワの導入
	+	5b.13 通風設備の高効率蒸気式空気予熱器の導入		
	+	5b.14 炉室内の最適換気制御システムの導入		
c.後処理工程	○	5c.1 コンベアのインバータ制御の導入		
	○	5c.2 飛灰固化装置のインバータ制御の導入		
	+	5c.3 排ガス処理用触媒反応塔への低温触媒の導入		
	+	5c.4 白煙防止用空気加熱器の空気量制御の導入		
	+	5c.5 加熱脱塩素化装置の最適温度制御の導入		
III 運用に設備及び事業所の	5 の 運用管理 ・ 廃棄物処理施設	a.前処理工程	◎	5a.1 脱臭ファンの運転時間短縮の実施
		b.熱処理工程	◎	5b.1 焼却炉等の燃料と空気量の適正化
			◎	5b.2 通風設備の送風量の適正化
	○	5b.3 発電用蒸気量の調整		
	c.後処理工程	◎	5c.1 ろ過式集じん装置のヒーター温度制御の適正化	
6 守 管 理 保	d.共通	◎	6d.1 廃棄物処理施設の定期的な保守・点検	